

## 第38回西日本スキー技術選手権大会開催要項

- 【主催】 S. A. J. 西日本ブロック協議会
- 【後援】 西日本スキー指導員会
- 【主管】 S. A. J. 西日本ブロック協議会 教育部会
- 【会期】 2017年2月3日（金）～2月5日（日）
- 【会場】 兵庫県「奥神鍋スキー場」
- 【現地本部】 「ふもとや」 兵庫県豊岡市日高町山田 TEL0796-45-0627
- 【日程】
- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| 2月 3日（金） | 17:20～17:50 | 受付（競技センター） |
|          | 18:00～      | 開会式        |
|          | 18:30～      | TCミーティング   |
| 2月 4日（土） | 9:00～       | 競技開始       |
| 2月 5日（日） | 9:00～       | 競技開始       |
|          | 16:00～      | 閉会式・成績発表   |
- ※ 詳細は現地にて発表
- 【競技種目】
- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1. 総合斜面・総合滑降  | 2. 中急斜面・ナチュラル・小回り・フリー |
| 3. 急斜面・整地・大回り | 4. 急斜面・不整地・小回り        |
- 【参加資格】
- 1 当該年度のSAJ会員登録を行なっている者。
  - 2 「SAJ スキー補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入済みの者。
  - 3 満15歳以上（中学生不可）で1級以上の認定を受けており、加盟団体長の推薦を受けた者。
- 【順位の決定】
- 1 各種目の採点は、5審3採用とする。
  - 2 総合成績の順位は、全種目の合計得点により決定する。
- 【表彰】
- 1 総合成績により、男子10位、女子6位までを表彰する。
  - 2 種目別は男女とも3位とする。
- 【申込方法】
- 1 参加者は所定の申込用紙(西教様式5(17版))に必要事項を記入のうえ、参加料を添え所属連盟宛申込む。
  - 2 参加者が18歳未満の場合は、必ず保護者の承諾を得て、申込書の保護者承諾欄に記名捺印をすること。  
各府県スキー連盟は、保護者承諾を必ず確認し、推薦を行うこと。

2 各府県スキー連盟は、申込用紙を取りまとめ、期日までに西教様式 5,11 を郵送、データベース(西教様式 11(17 版))を電子データにて下記申込先宛提出する。

**【申込み・問合せ先】**

〒740 - 0027

山口県岩国市中津町 2-23-1 フォルテ・FA201

池田 章二 方

TEL 090 - 7377 - 0902

**【申込締切】** 2017年1月12日(木) 必着 ※ 締切後の申込は一切受け付けない。

**【参加料】** 6,000円

**【振込先】** 山口銀行 大内支店 店番186 番号6219399  
口座名義 山口県スキー連盟

**【その他】**

- ・ 積雪等の状況により、競技種目を変更することもある。
- ・ S A J 公式用品を使用のこと。
- ・ 万一競技中事故が発生した場合においても、応急処置は行うが総て本人の責任により処理する。

## 競技規則

# 西日本スキー技術選手権大会 競技規則

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。大会運営上、20人～30人集合しだい随時コールを開始する。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければならない。
- 3 競技者はスタート審判の合図により出発しなければならない。スタート合図はフラッグで行い、視界の悪いときはトランシーバーを利用する。  
直ちに出发しない場合は該当種目を棄権とする。
- 4 競技コースの終点には停止ゾーンを設ける。ゾーンは4本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ゾーン内で安全のために停止するものとする。ゴールは、両足スキーで終了する。
- 6 競技中止について。大転倒等で中止するときは、ストック等の×印で連絡する。
- 7 帽子・ヘルメットは安全上必ず着用する。ウェアは、ワンピースは禁止する。その他、公式用具を使用する事。
- 8 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。
- 9 競技各種目は、設定された条件や状況に適合した回転弧、スピードで行う。
- 10 審判は5審3採用によって行う。
- 11 競技斜面のインスペクション・整備については競技本部の指示に従い行う。  
選手・監督・コーチのみとする。ビブ・証明書を着用の事。
- 12 抗議は、監督・コーチ・当該選手本人としゴール後ただちに審判長に申し出ること。  
監督1名・コーチ3名以内とし、受付時に届け出をして監督・コーチ証を受け取り、大会期間中着用する。
- 13 競技会場の積雪状況により競技コート・種目変更の可能性も有り得る。